

製品名: TPP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87440**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:61,35 kDa; Observed MW:61,48 kDa

抗原情報

遺伝子名	TPP1
別名	CLN2; GIG1; LPIC; SCAR7; TPP-1
遺伝子ID	1200
SwissProt ID	O14773
免疫原	ヒトTPP1の組み換えタンパク質

背景

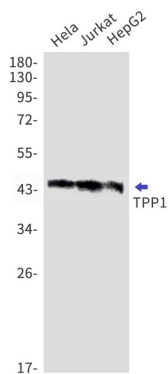
この遺伝子は、セドリシンファミリーに属するセリンプロテアーゼをコードする。このプロテアーゼはリソソーム内で基質から N 末

端トリペプチドを切断する機能を持ち、エンドペプチダーゼ活性は弱い。触媒不活性酵素として合成され、酸性化によって活性化され、自己タンパク質分解を受ける。この遺伝子の変異は、乳児後期型神経細胞セロイドリポフスチン症を引き起こし、これはリソソーム内で特定の神経ペプチドおよび ATP 合成酵素のサブユニットを分解できないことと関連している。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



TPP1 抗体 (1:1000 希釈) を使用した HeLa、Jurkat、HepG2 細胞溶解物中の TPP1 のウェスタンブロット検出。